

千葉県地震概況（平成 30 年 8 月）

【震央分布図】

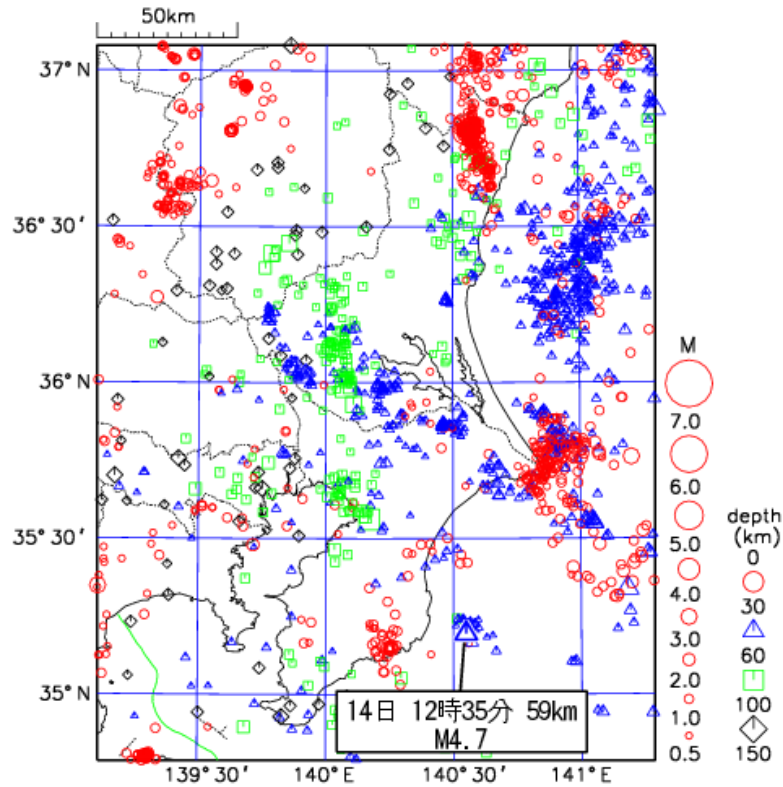


図 1 震央分布図 (8月1日から8月31日)

- ・ Mはマグニチュードで 0.5 以上、深さ (depth) は 150km までの地震を示しています。
- ・ 図中の日時等は、県内震度観測点で震度 3 以上を観測した地震です。

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。

また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点 (河原、熊野座)、米国大学間地震学研究連合 (IRIS) の観測点 (台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東) のデータを用いて作成しています。

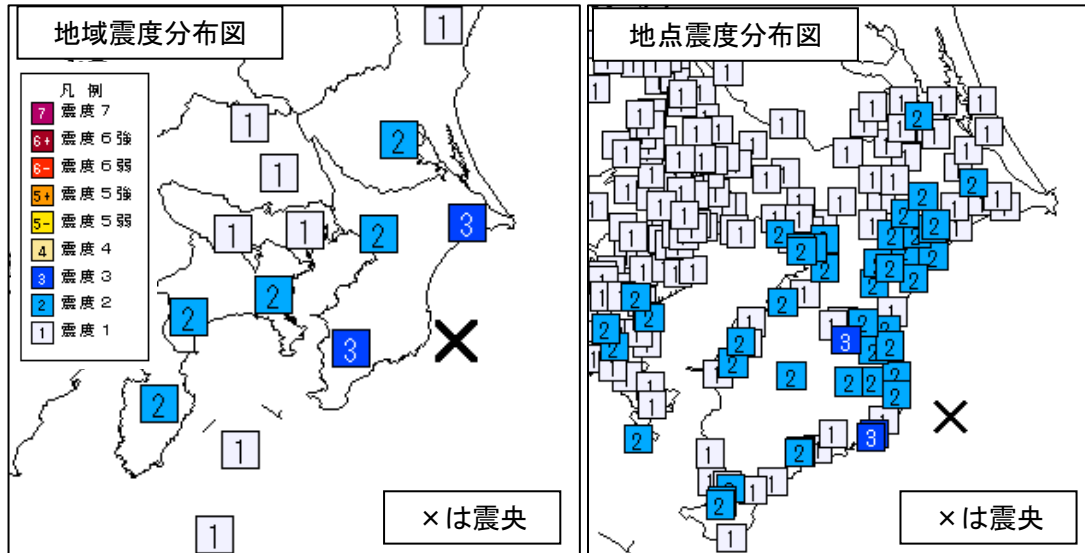
- ・ 本資料中で使用している地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図25000 (行政界・海岸線)』を使用しています (承認番号: 平29情使、第798号)。
- ・ データについては精査により、後日修正することがあります。

【地震活動概況】

今期間の県内の最大震度は3でした。

今期間に県内で震度1以上を観測した地震は15回でした。その内、県内で震度3以上を観測した地震は以下の1回でした。

14日12時35分千葉県東方沖の地震により、長南町、勝浦市で震度3を観測したほか、千葉県幅広い範囲で震度2～1を観測しました。



【県内で震度1以上を観測した地震のリスト】

地震No.	地震の発生日時	震央地名	緯度	経度	深さ	M	県内最大震度
1	2018/08/03 21:30	千葉県東方沖	35° 32.8' N	141° 03.3' E	35km	M3.7	1
2	2018/08/06 19:56	千葉県東方沖	35° 33.1' N	141° 02.8' E	37km	M4.5	2
3	2018/08/07 05:10	千葉県北西部	35° 33.6' N	140° 10.3' E	73km	M4.2	2
4	2018/08/08 00:12	三陸沖	37° 54.9' N	143° 56.3' E	50km	M5.6	1
5	2018/08/08 06:04	千葉県東方沖	35° 45.0' N	140° 52.7' E	10km	M3.4	1
6	2018/08/08 18:07	福島県沖	37° 11.4' N	141° 11.7' E	21km	M4.9	1
7	2018/08/11 06:11	福島県沖	37° 09.4' N	141° 11.7' E	20km	M5.0	1
8	2018/08/11 14:18	千葉県東方沖	35° 20.3' N	141° 10.9' E	37km	M4.5	1
9	2018/08/14 12:35	千葉県東方沖	35° 11.7' N	140° 32.9' E	59km	M4.7	3
10	2018/08/21 02:47	茨城県南部	36° 02.7' N	139° 53.0' E	42km	M4.0	2
11	2018/08/21 22:54	千葉県南部	35° 08.9' N	140° 15.4' E	13km	M2.9	1
12	2018/08/21 23:01	千葉県南部	35° 08.9' N	140° 15.3' E	13km	M3.2	1
13	2018/08/29 07:35	茨城県沖	36° 33.2' N	140° 47.2' E	53km	M3.9	1
14	2018/08/29 14:30	茨城県南部	35° 59.2' N	140° 04.6' E	61km	M4.1	2
15	2018/08/30 03:51	茨城県南部	36° 01.0' N	140° 04.7' E	61km	M3.5	1

各地の震度については、気象庁 HP「震度データベース検索」をご利用ください。

<http://www.data.jma.go.jp/svd/eqdb/data/shindo/index.php>

本資料についての問い合わせ先：銚子地方気象台 電話 0479-23-7705

【千葉県東方沖の地震活動】

図2の四角形領域内（茶色）は、地震活動が活発な地域であり、14日12時35分千葉県東方沖の深さ59kmでM4.7の地震により、長南町、勝浦市で震度3を観測したほか、千葉県の広い範囲で震度2~1を観測しました。この地震は、発震機構が西北西-東南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型で、太平洋プレート内部で発生しました。この地震の震央付近では、ゆっくりすべりに伴った地震活動（フィリピン海プレートと陸のプレートの境界 深さ10km~30km）が発生していますが、深さが違う地震となります。

発震機構の説明：<http://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/mech/kai setu/mech kai setu.html>

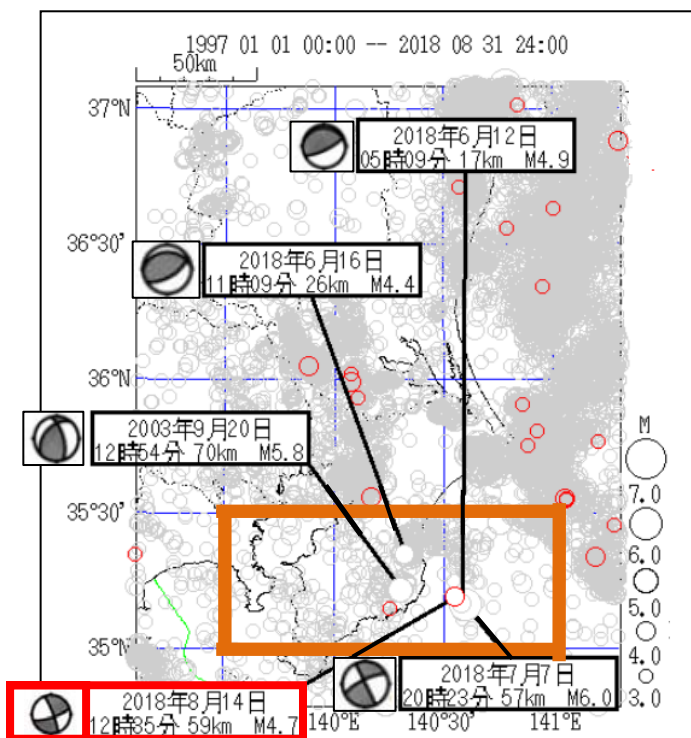


図2 震央分布図（1997年1月～2018年8月）

- ・ Mは3.0以上、深さは0~150km
- ・ 2018年8月1日以降の地震を赤で表示（図3以降も同じ）

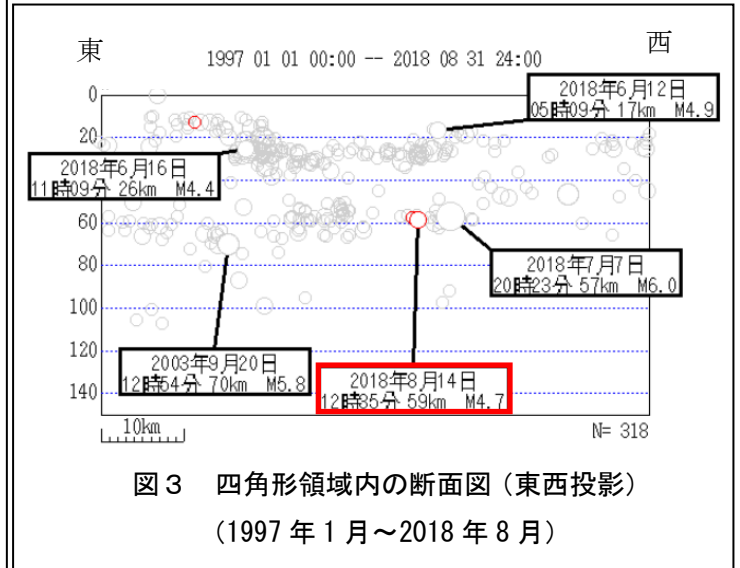
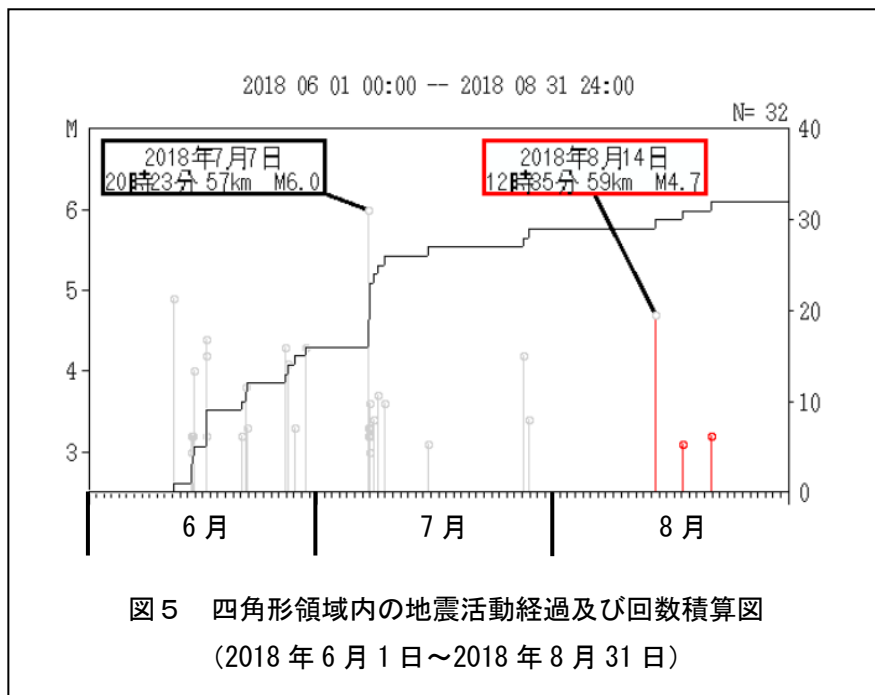
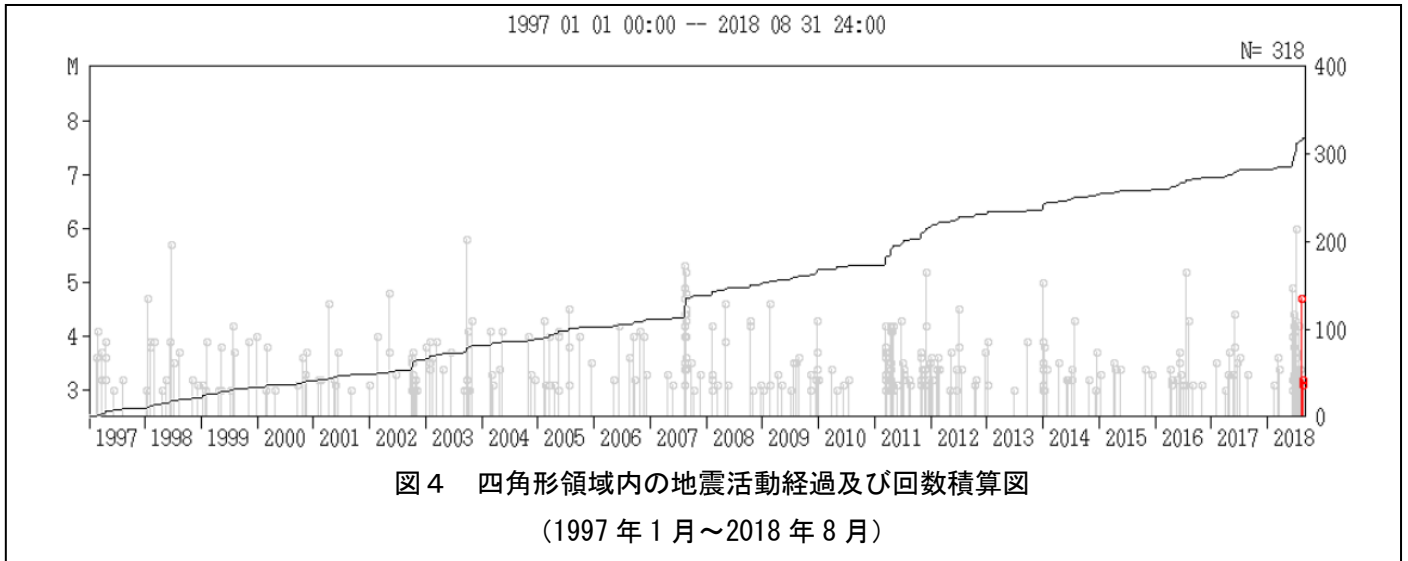


図3 四角形領域内の断面図（東西投影）
（1997年1月～2018年8月）



* 四角形領域内の地震活動経過及び回数積算図の説明

- ・ 横軸は時間
- ・ 縦軸左側はマグニチュードを示す目盛
- ・ 縦右側が地震の積算回数を示す目盛
- ・ 折れ線は地震の積算回数
- ・ Nは四角形領域内で震源決定した地震の回数